

【エリアの特性】

＜自然＞

淀川が流れる広大な芝生で水辺に親しめるまち

淀川河川公園（緑地）は、淀川の流れを背景とし、広大な美しい芝生が市民のレクリエーションの場となっています。

国道1号（京阪国道）沿いには、平行して幹線水路が流れ、その水路沿いの桜並木は、春は桜の名所の一つとなっています。また、仁和寺本町二・三丁目の旧集落地の中を寝屋川第六水路が流れています。

＜歴史・文化＞

昔の大阪と京都を結ぶ人の往来と旧街道筋の古いまちなみが残るまち

仁和寺本町四・五丁目のまちなかの道筋には、創建は室町時代の初期と言われ、延宝2（1674）年6月の仁和寺堤防の決壊に際して現地に移された仁和寺氏神社があります。

このような古い歴史がある淀川の堤防上には旧京街道が通っていました。

また、仁和寺本町二・三丁目付近の仁和寺3号線沿いには、比較的古いまちなみが残されています。

＜人工・都市＞

幹線道路が交差する西南部玄関口のまち

淀川に沿って国道1号（京阪国道）が、さらに京都守口線が南北に縦貫するとともに、一部供用された（都）千里丘寝屋川線や淀川を跨ぐ烏飼仁和寺大橋があります。これらの幹線道路沿いには、工場や自動車展示場、流通業務施設などが立地し、物流・交通の道としての役割も果たしています。

淀川河川敷沿いに、中層住宅団地や民間の高層住宅も立地しています。

景観整備の方向

淀川の水と淀川河川公園の芝生に映える西南方向のシティゲート

景観形成の基本目標

景観形成に向けた誘導基本方針

＜自然＞

●京都と大阪を繋ぐ淀川、平行して流れる幹線水路、淀川堤防と公的中層住宅団地間の水路、仁和寺本町二・三丁目の旧集落地内を流れる寝屋川第六水路など、水や水際景観を活かすまち

- 河川、水路を活かす。
 - ・淀川と一体の豊かな芝生の活用
 - ・淀川堤防敷から丘陵の眺望を確保
 - ・幹線水路沿いの修景、桜並木の活用

＜歴史・文化＞

●仁和寺堤防の決壊で、現地に移された仁和寺氏神社や近世の京都と大阪を結ぶ旧京街道、仁和寺本町二・三丁目付近の古い民家、古いまちなみなどの歴史的景観や資源を活かすまち

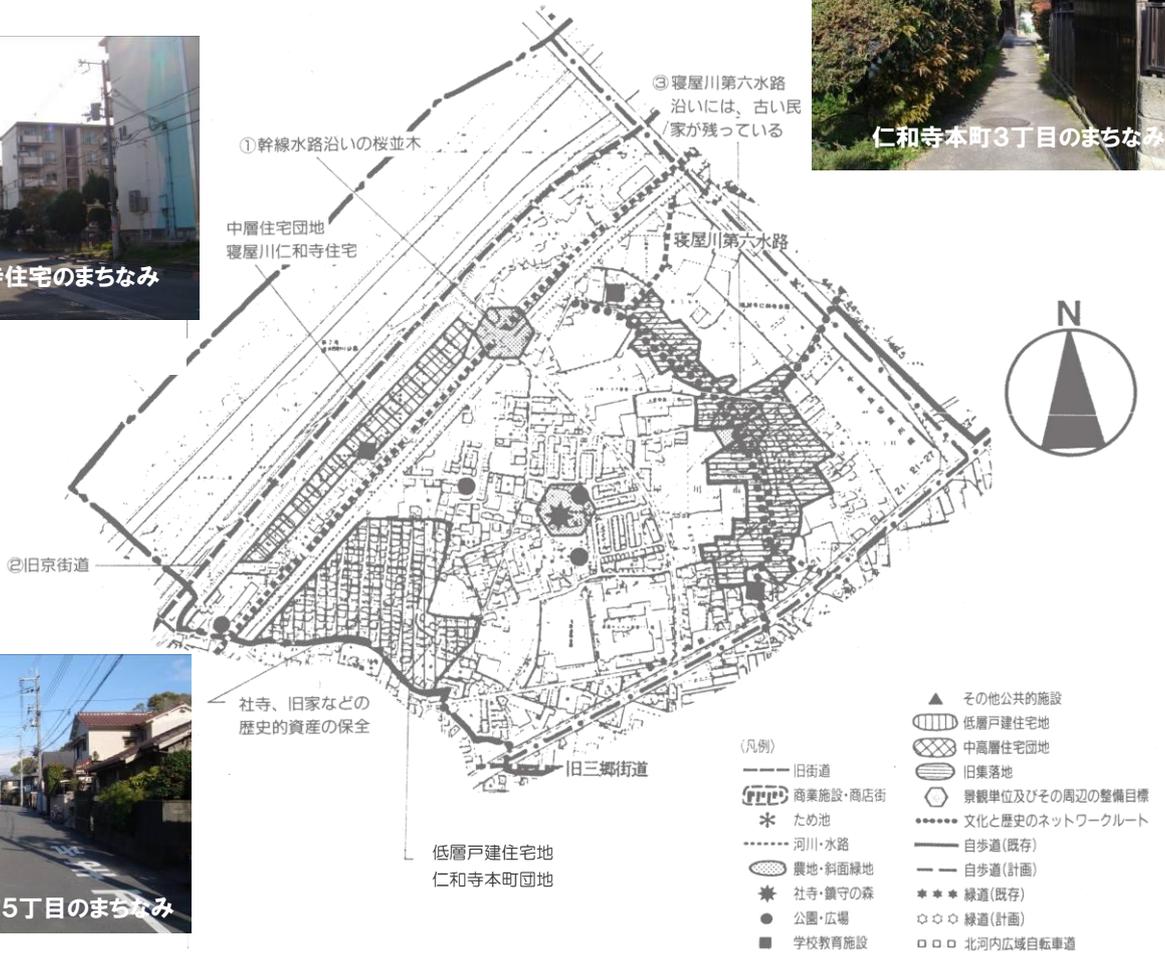
- 歴史の香りを演出する。
 - ・仁和寺氏神社や旧家、古いまちなみなどの歴史的資源の活用
 - ・旧京街道沿いに残る歴史的景観資源の活用

＜人工・都市＞

●隣接市からの玄関に位置する国道1号（京阪国道）や京都守口線、烏飼仁和寺大橋、（都）千里丘寝屋川線などの沿道を活かした玄関口に相應しいまち

- 玄関口に相應しい景観を形成する。
 - ・工場、流通業務施設などの建物に緑が映える演出
 - ・国道1号（京阪国道）、京都守口線、（都）千里丘寝屋川線の沿道景観の演出
 - ・淀川の水辺と調和する住宅地の演出

景観資源と特性図



■景観基本単位

名称	<旧集落地>仁和寺本町3丁目	<低層戸建住宅団地>仁和寺本町5丁目	<公的中層住宅団地>寝屋川仁和寺住宅
景観整備の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○旧京街道沿いの歴史的景観を守り育てる。 ・旧京街道（淀川堤防上）に通じる仁和寺3号線や寝屋川第六水路沿いに残る比較的古いまちなみを大切にす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○会社の社員用として建てられた戸建住宅団地に水辺の公園と緑を活かす。 ・淀川河川公園（緑地）の美しい芝生や幹線水路の桜並木、社寺林の緑などを戸建住宅団地に活かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中層住宅団地に水辺の公園と緑を活かす。 ・淀川河川公園（緑地）の美しい芝生や幹線水路の桜並木などの緑を中層住宅団地に活かす。
景観資源の活用と整備事例	<ul style="list-style-type: none"> ○仁和寺3号線や寝屋川第六水路に残る比較的古いまちなみを散策路沿いのまちなみとして活用 ○仁和寺点野線などを歩行者にやさしい道路として活用 ○旧家、古いまちなみの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○民地の豊かな植栽の緑、生け垣の緑の活用 ○国道1号（京阪国道）や幹線水路沿いの緑の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史散策路として旧京街道（淀川堤防上）を活用 ○淀川堤防と住宅団地間の水路の活用 ○公園の芝生、幹線水路沿いの桜並木の活用 ○国道1号（京阪国道）や幹線水路沿いの緑の活用